

令和3年度 自己評価結果公表シート 日知屋東幼稚園

1.幼稚園の教育目標

- 幼稚園の目標：子どもの自立と共生の心を育む
- 子どもの自立を促すために：「健康な体」「豊かな心」「考える力」の育成に努める

2.本年度に定めて重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- 1.遊びを中心として子供たちが伸び伸びと活動をする教育の充実に努める。
- 2.規範意識や思考力の育ちなどに関する指導の充実に努める。
- 3.幼児の家庭での生活経験に配慮した基本的な生活習慣の育成を図る。
- 4.安心して安全な幼稚園を保证するための取り組みに努める。
- 5.幼稚園と小学校との連携を推進する
- 6.地域交流、異世代交流、国際交流等豊かな体験活動の充実に努める。

3.評価項目の達成及び取組状況

評価項目	結果	理由
1.教育活動の充実	A	各保育活動や行事にねらいや目的を示し、評価項目をより具体的に設定して取り組んだ。今後は、評価が活きる活動にするために活動の関連をさらに図り、内容の充実に努めたい。
2.道徳指導等の充実	A	育てたい子ども像や望ましい子ども像の共通理解・共通実践に努めてきた。道徳的な指導と共に実践の場として、園児にも成長のあとが見られるようになってきた。
3.基本的な生活習慣	A	指導されていることが、実践できるようになってきている。、トイレのスリッパを使用後しっかりと並べる姿など、振り返りを基に目に見えて実践できるようになってきている。
4.安心して安全な幼稚園	A	外部からの安全指導は限られたものになったが、園内での避難訓練等は定期的実施することができた。単調な訓練になりがちな傾向にあるが、毎回園児の真剣な対応にその意義を深めている。
5.小学校との連携	B	コロナ禍の影響で、小学生・園児間の交流活動はできなかったが、職員間はリモートの研修や連絡会を通して連携は保つことができた。今後の経過により連携の在り方を探りたい。
6.豊かな交流体験の充実	B	外部講師との交流は回数を限って実施することができたが、福祉施設の訪問や、地域の方々や事業所等への感謝の意を伝える交流体験はコロナ禍の中で難しいものがあった。

4.幼稚園評価の具体的な目標や総合的な評価結果

結果	理由
A	富高学園の目標を基に、めざす幼稚園像を設定し、その達成をめざしての3年目であった。保育や園内での生活全般・各行事で意識し取り組むように努めてきた。保護者の幼稚園評価結果でも、AもしくはBの評価が97.8%（昨年度96.9%）であり、保護者からも園内の保育活動について、一定の評価をいただいたと思う。コロナ禍の中、改めて基礎・基本を重視していきたい。
※項目 3.4 の評価結果の表示方法 A: 十分達成されている B: 達成されている C: 取り組まれているが成果が十分でない D: 取組が不十分である	

5.今後取り組むべき課題

課題	具体的な取組方法
1.教育活動の充実	受け身の教育活動から自ら計画・実践する教育活動へ意識を転換していく。キャリアアップのオンライン研修を充実していく。
2.道徳指導等の充実	飼育や栽培などから命ある物への畏敬の念を深める。体験活動を重視していくことで、道徳的な体験の機会として行きたい。
3.基本的な生活習慣	教師間の共通理解と一貫性のある指導の継続により、「あいさつ」と「ありがとうの感謝の言葉」の日常化をさらに図っていききたい。
4.安心して安全な幼稚園	安全点検を重視し、施設・設備による怪我等に配慮していきたい。避難訓練については、緊張感をもって取り組んでいきたい。
5.小学校との連携	情報交換に偏ることなく、教師間の相互交流や教育活動の視察を実施していくことで、さらに連携を深めていきたい。
6.豊かな交流体験の充実	キャリア教育の観点から、中学生及び高校生との交流、事業所や施設との連携を図り、コロナ禍前の交流体験に戻していきたい。

6.特記事項

学校関係者の評価	特に指摘する事項はなく、妥当だと認められる。
----------	------------------------